



うきは市ワンヘルス推進宣言

うきは市は、清らかな筑後川の流れと耳納連山の豊かな自然に囲まれ、肥沃な大地と温暖な気候を活かした果樹栽培をはじめとした農業・林業が盛んなまちです。また、歴史と文化を大切にし、人と人とのきずなを深めながら発展してきました。

新型コロナウイルスや鳥インフルエンザをはじめとする「人獣共通感染症」は、人口増加、都市化や森林開発等が自然環境へ負荷を与える行為、これに伴う地球温暖化や生態系の劣化によって、人と野生動物の生存領域が変化したために、元々、野生動物が持っていた病原体が人にも感染するようになったとされています。

福岡県では、全国に先駆けて「福岡県ワンヘルス推進基本条例」を制定し、人と動物の健康及び環境の健全性を一体的に守るための6つの基本方針や行動計画を策定しました。

うきは市においても、これまで人獣共通感染症対策、生物多様性の保全、食育、地産地消など様々な分野でワンヘルスにつながる取組を進めてきました。

今後は福岡県と連携しながらワンヘルス実践を着実に進め、人と動物の健康及び環境の健全性を一体的に守り、次世代に継承していくため、下記の事項に取り組み、ワンヘルスを推進することをここに宣言します。

記

1. 福岡県ワンヘルス推進行動計画に基づき、福岡県の取組に連携・協力し、ワンヘルス実践施策を推進します。
2. 市民へのワンヘルスの周知に努め、理解の促進を図り、その実践活動に対し必要な支援を行います。

令和7年6月2日

うきは市長

権藤英樹



FUKUOKA ONE HEALTH